

科目名	外国語 1							年度	2026
英語科目名	Foreign Language 1							学期	前期
学科・学年	音響芸術科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	夏野 カレン	教員の実務経験		有	実務経験の職種		作詞家/ボーカリスト		
【科目の目的】 英語基礎文法を復習しながら、実際にそれを使いこなせるようにスピーキングの練習を多く設けてコミュニケーション力を養う。英会話の楽しさを感じ、日常生活の中で、また社会に出た際に英語を使える土台作りを行う。									
【科目の概要】 『外国語』は、英語の基礎構造を理解し、今までに培った文法力、語彙力を基に、実際に日常の中で使える英会話能力を向上させる。また洋楽や洋画を通して、学生たちが英語への関心を高め・学ぶ意欲を促進させる。									
【到達目標】 A 英語の基礎構造を理解・習得 ー 英語で正確に出来事を伝える、まとめて文章にすることができる。 B 英会話力を養うー 理解したことを英語でアウトプットでき、リスニング力を高めながら会話を行うことができる。 C 英語への関心を持ち、積極的に英語を使いながらコミュニケーションを取る意欲を養う。									
【授業の注意点】 授業時限数の4分の3以上出席しない学生は、定期試験を受験する事ができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	英語の構造を理解し文章を正確に組み立てることができる		英語の構造を大まかに理解し文章を組み立てることができる		英語の構造を理解していない故、文章を組み立てることが困難である				
到達目標 B	正しい英語で自分の意思を伝えながら、相手と会話ができる	相手と意思疎通が出来る、英語で会話ができる	相手と意思疎通ができる程度の英語で会話ができる	単語をいくつか使いながら、英語で会話ができる	会話を英語で行うことが出来ない				
到達目標 C	英語を学ぶ意欲・関心が高く、自らコミュニケーションを英語で取ろうとする意欲がある		英語への関心を持ち、相手とコミュニケーションを取る意欲を持っている		英語を学ぶ意欲が低く、相手とのコミュニケーションを取ろうとしない				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 適宜プリントを配布する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		外国語 1			年度	2026
英語表記		Foreign Language 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション・名詞の疑問文	英語と日本語の構造の違いを理解し、名詞のWH疑問文を作れる	1 自己紹介とシラバス解説	授業の目標・主旨を理解する。	3	
			2 日本語と英語の構造の違い	日本語と英語の構造の理解し、自分で文を組み立てることができる。		
			3 重要語句の理解	英語の土台となる重要語句を理解して使うことができる。		
2	冠詞	物・人物について文を作り、会話ができる	1 名詞	可算名詞・不可算名詞を理解し使い分けができる	3	
			2 冠詞 (a / an / the)	冠詞を理解し、正確に使い分け出来る		
			3 職業の英単語	職業の英単語を習得し、会話で使うことができる		
3	場所を表す前置詞	場所に関して文を作り、会話ができる	1 Whereの疑問文	場所に関する英単語を習得し、場所を聞く質問ができる	3	
			2 場所を表す前置詞	場所を表す前置詞を覚え、使いこなすことができる		
			3 Q&A会話練習	場所に関する会話を行うことができる		
4	大きい位の数	値段に関して文を作り、会話ができる	1 How muchの疑問文	値段を尋ねる際に使う英単語を習得し、質問が出来る	3	
			2 大きな位の数	大きな位の数の読み方を習得し、正確に言うことができる		
			3 Q&A会話練習	値段に関する会話を行うことができる		
5	形容詞	様々な形容詞を理解し、人や物の状態に関して会話できる	1 How の疑問文	人・もの等の状態を尋ねる際に使う英単語を習得し、質問が出来る	3	
			2 形容詞の使い分け	実用的な形容詞を正確に使い分けできる		
			3 Q&A会話練習	How を使って会話を行うことができる		
6	時を表す前置詞	時を表す語に関して文を作り、正しく前置詞の使い分けができる	1 When の疑問文	時を表す疑問文を正確に聞くことができる	3	
			2 時を表す前置詞	時を表す前置詞の使い分けを理解し、使える		
			3 Q&A会話練習	時に関する会話を行うことができる		
7	所有代名詞	Whoseを使った文のQ&Aを理解する。	1 Whoseの疑問文	Whoseを使って正確に質問を作ることができる	3	
			2 所有代名詞	所有代名詞を理解する		
			3 Q&A会話練習	Whoseを使って会話を行うことができる		
8	数量を表す副詞	How many/ How muchを使った文のQ&Aを理解する。There is構文の使い方を理解する	1 How many/How muchの疑問文	How many / How much の使い分けができ、数量を聞くことができる	3	
			2 数量を表す副詞	数量を表す副詞を習得する		
			3 Q&A会話練習	How many / How muchを使って会話を行うことができる		
9	映画①	洋画を通して英語を学ぶ①	1 会話表現	日常でよく使われる会話表現、フレーズを学び、習得する	3	
			2 リスニング	映画の内容を使ってリスニング力を高める		
			3 興味関心	映画を通して、英語への興味・関心を高める		
10	映画②	洋画を通して英語を学ぶ②	1 会話表現	日常でよく使われる会話表現、フレーズを学び、習得する	3	
			2 リスニング	映画の内容を使ってリスニング力を高める		
			3 興味関心	映画を通して、英語への興味・関心を高める		
11	Why	Whyを使った文のQ&Aを理解し会話ができる	1 Why の疑問文	Whyを使った文の語順を理解し、理由を尋ねる質問を作ることができる	3	
			2 WHの総復習	これまで学んだWHを復習し、正確に文を作れる		
			3 Q&A会話練習	Whyを使って会話を行うことができる		
12	Yes/ No 疑問文	Yes, No 疑問文を理解し、会話ができる	1 Yes / No 疑問文	名詞に関する Yes / No 疑問文を作ることができる	3	
			2 名詞の文章のまとめ	名詞に関する文章を正確に組み立てることができる		
			3 Q&A会話練習	名詞に関するQ&Aを行うことができる		
13	一般動詞と前置詞	一般動詞を学び、前置詞を理解する	1 be 動詞と一般動詞	be動詞と一般動詞の違いを理解し文を作れる	3	
			2 前置詞	動詞と使う前置詞を習得し、使うことができる		
			3 Q&A会話練習	一般動詞に関するQ&Aを作ることができる		
14	4つの時制	一般動詞の4つの時制を使い分けできる	1 4つの時制の理解	現在形、現在進行形、未来形、過去形の構造を理解する	3	
			2 肯定文と疑問文	肯定文・疑問文の作りを理解し、正しく文に出来る		
			3 Q&A会話練習	4つの時制を使ったQ&Aで会話ができる		
15	前期まとめ	これまでの講義の要点を復習	1 名詞の文の復習	前期に学んだ名詞に関する文章の復習	3	
			2 動詞の文の復習	前期に学んだ動詞に関する文章の復習		
			3 総復習	練習問題を解きながら試験対策を行う		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等